

令和3年度スポーツ庁委託事業

「Specialプロジェクト2020（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」成果報告書

令和4年3月

(受託者名) NPO 法人スマイルクラブ

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、《NPO 法人スマイルクラブ》が実施した令和3年度《「Special プロジェクト2020（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」》（委託契約書第1条で定めた委託事業名）の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

本事業概要（1）

- 1 事業名：令和3年度 Specialプロジェクト2020
「特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業」
- 2 事業趣旨：
障がい者スポーツの受け皿の一つである総合型地域スポーツクラブ、特別支援学校千葉県専門家、市町村等が連携し、特別支援学校等を有効に活用するための実践事業を実施し、地域における障がい者スポーツの拠点づくりを推進するためのモデル（千葉モデル）を構築する。このモデルにより、特別支援学校等における体育・運動部活動等の推進、特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進、特別支援学校の学校開放等による在校生、卒業生、地域住民等に対する体育施設の利用促進を目指す。
- 3 目標
 - 1) 今回のプロジェクトの目標は、
 - ①特別支援学校における体育・運動部活動等の推進
 - ②特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進
 - 2) 具体的には、

基本的に千葉県、自治体、総合型地域スポーツクラブ等が連携し、障がい者への継続的な支援が可能なモデル（千葉モデル）を構築することにある。

 - ① 「特別支援学校における体育・運動部活動等の推進」

特別支援学校の体育授業において「パラスポーツの出前授業」等をモデル的におこない、特別支援学校における体育の推進とモデル構築をおこなう
 - ② 「特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進」特別支援学校を拠点とし、総合型地域スポーツクラブと連携した、障がい児・者のための生涯スポーツ支援促進のための地域モデルを構築する。「チャレンジスポーツ教室の開催」

本事業概要（2）

4 内容：

1) 実行委員会の開催 ※下記メンバー（敬称略、順不同）

- ①千葉県 桃木一（千葉県教育庁体育課）、中田潤子（同 特別支援教育課）
- ②専門家（大学研究者等）
 - 谷藤千香（千葉大学准教授）
 - 中島一郎（千葉障がい者スポーツ指導者協議会理事、元国際武道大学教授）
 - 兒玉友（日本福祉大学准教授）
 - 渡正（順天堂大学准教授）
 - 黒須充（順天堂大学教授）
- ③パラアスリート選手（パラバドミントン） 大浜真
- ④NPO 法人スマイルクラブ理事長 大浜あつ子
- ⑤事務局 NPO 法人スマイルクラブ

2) 特別支援学校における体育・運動部活動等の推進（体育・運動部活動等）

“パラスポーツ等の出前授業”

- ①対象校：拠点校等
- ②実施時期：2021 年秋以降
- ③内容：パラスポーツ等の出前授業の開催
- ④種目：
 - ア) パラバドミントン イ) 車いすバスケットボール ウ) パラ陸上
 - エ) バレーボール オ) バスケットボール
- ⑤参加目標：新型コロナ感染予防の観点から三密を避けるため1種目30人程度とし、参加目標は30人×3種目×3校で270人
- ⑥講師：トップアスリート選手等

本事業概要（3）

3) 特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進（地域スポーツクラブ活動）→ “チャレンジスポーツ教室”の開催
総合型地域スポーツクラブのスマイルクラブが、今までの障がい児（者）のスポーツ指導のノウハウを活かし、主に高校生以上の障がい者（社会人含む）を対象とした生涯スポーツの教室（チャレンジスポーツ教室）をモデル的に近隣の特別支援学校等と連携し開催する。

①会場：流山市生涯学習センター体育館

②日時：2021年9月から6か月間（毎週月曜日約2時間）

③講師・スタッフ：スマイルクラブ責任者+アシスタント（ボランティア）
毎回3名程度

④参加目標：6か月目（2月末）に在籍者10名を目標とする

5 実施目標

1) 「特別支援学校における体育・運動部活動等の推進」

“パラスポーツ等出前授業”

出前授業参加人数を、1種目30人×3種目×モデル校3校=270人

2) 「特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進」 “チャレンジスポーツ教室の開催”

①教室参加人数 2022年2月末に在籍者10人の在籍

※1回平均5人×24回=延べ120人の参加目標

②教室の新たな支援協力者アシスタント（ボランティア）数

毎回3人×月4回×6か月=延べ72人

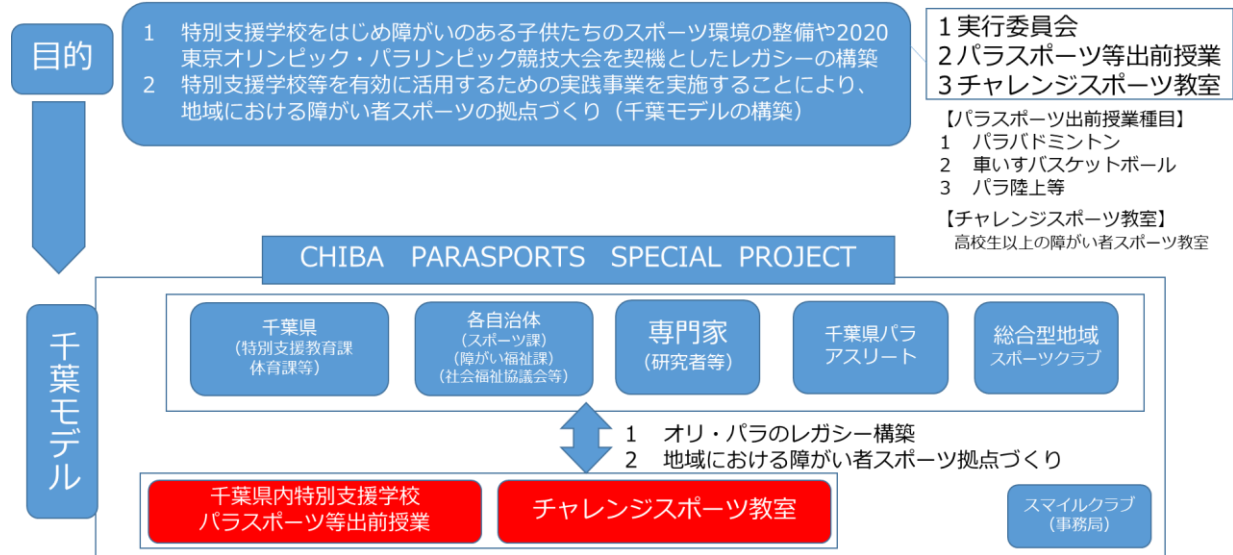
③教室の開催日数

9月～翌年2月までに月4回×6か月=延べ24日間

本事業概要 (4)

6 実施体制について

特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり（千葉モデルの構築）



本事業実績まとめ（目標と達成率）

	内容	目標数	実績	達成率 (%)
1	「特別支援学校における体育・運動部活動等の推進」 “パラスポーツ等出前授業”の開催	延270人	延402人 (延8校)	148.9%
2	特別支援学校等を拠点とした 障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進 (チャレンジスポーツ教室の開催)			
	1) チャレンジスポーツ教室参加人数 ①2022年2月末に在籍者10人の在籍 ②延べ120人の参加	①在籍 10人 ②参加 120人	①在籍 5人 ②参加 71人	①50.0% ②59.2%
	2) チャレンジスポーツ教室 新たな支援協力者ボランティア数 ※「おおたかスポーツコミュニティ流山（以下OSC）」OSCと連携し、ボランティアを養成	延72人	延べ82人	113.9%
	3) チャレンジスポーツ教室 稼働率 特別支援学校における学校開放の稼働率の向上 ※本来特別支援学校借用予定であったがコロナのため使えず近隣の地域スポーツクラブ「おおたかスポーツコミュニティ流山（以下OSC）」と連携し、OSCの活動先である流山市生涯学習センターの体育館を借用	延24日	20日	83%

1 「特別支援学校における体育・運動部活動等の推進」

多くの特別支援学校からの要望と参加者により、目標を大きく上回ることができた！今後もこのような要望に応えられるように、人材、機材等の環境を整備していきたい。

2 特別支援学校等を拠点とした障がい児・者の地域スポーツクラブ活動の推進（チャレンジスポーツ教室の開催）

- 地域の総合型地域スポーツクラブ（スマイルクラブと OSC の連携）が連携し、障がい者スポーツの教室を開催できたことが、今回の事業では大きな収穫となった。
- 在籍数については、コロナでこの教室の案内が積極的にできなかったこともあり、今後の課題となった。

「特別支援学校における体育・運動部活動等の推進」
実績一覧

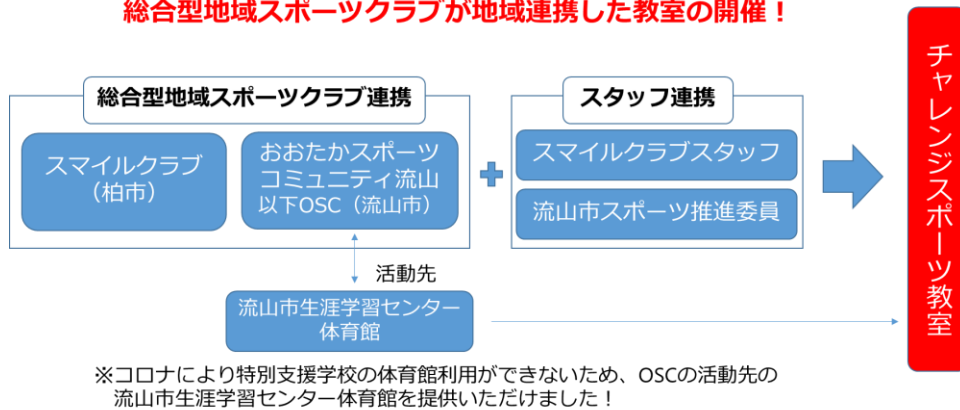
	日時・場所	参加者数	内容 講師等	ボランティア数 (大学生含)
1	2021年10月7日(木) 千葉県立船橋特別支援学校	107人	車いすバスケット 植木選手 添田選手 (千葉ホークス)	8人
2	2021年10月8日(金) 千葉県立野田特別支援学校	25人	パラバドミントン 大浜真選手 (スマイルクラブ)	5人
3	2021年11月2日(火) 千葉県立栄特別支援学校	30人		11人
4	2021年11月4日(木) 千葉県立栄特別支援学校	30人		7人
5	2021年11月19日(金) 千葉県立栄特別支援学校 (成田市中台運動公園)	130人	パラ陸上 樋口政幸 (東京パラ出場)	5人
6	2021年11月22日(月) 千葉県立船橋特別支援学校	40人	パラバドミントン 大浜真選手 (スマイルクラブ)	8人
7	2021年12月12日(日) 千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園	29人	Vリーグ つくばユナイテッド 男子選手	7人
8	2021年12月19日(日) 千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園	11人	東京成徳大学 男子バスケットボール 川北準人監督、選手	8人
	計	402人		59人

チャレンジスポーツ教室 (障がい者が一生涯楽しめるスポーツ教室)

総合型地域スポーツクラブが連携した新たなモデルの構築

チャレンジスポーツ教室の開催（高校生以上の障がい者の教室）

総合型地域スポーツクラブが地域連携した教室の開催！



今回の事業では、高校生以上の障がい者が一生涯スポーツを楽しんでもらえる教室を、総合型地域スポーツクラブである「スマイルクラブ」（柏市）と隣接する「おおたかスポーツコミュニティ流山（OSC）」（流山市）が連携し、その教室「チャレンジスポーツ教室」を開催することができました。

このような、障がい者スポーツを支援する総合型地域スポーツクラブ間の連携は日本のなかで新たなモデルの構築につながりました！

今後このモデルをさらに発展させていきたいと思っております！